

# 「沖縄捨てる石」許容でやめぬ

政府があおる「台湾有事」は「南西有事」でもあります。ミサイル配備が進められている沖縄県石垣市、宮古島市、与那国町など（先島諸島）の第一列島線上にたどるま市（沖縄本島）は位置します。ミサイルが配備される陸上自衛隊の分屯地近くには、多くの保育園もあります。基地が攻撃されれば、たゞせん

の市民が巻き込まれる事は明白ですか。

拡を進めるならびに、国民には「抵抗権」があります。このことをしてからと認識し、たしかにいかなければなりません。

沖縄国際大学名誉教授  
ひろゆき 照屋 寛之さん

こうした危険がありながら國や市は、住民に説明を一切していません。「外交防衛問題は國の専権事項」と考えていましたが、実際に戦争が起き、被害を受けるのは住民です。

たとえ、「専権事項」だとしても住民の納得である以上では、反対や止めてはいけません。反対の場合は、たゞ一人が亡くなればいいのです。たとえ、攻撃目標とする危険のある基地を未来永劫、国を続けることが日本民主主義なのでしょうか。また沖縄を捨て石にする」とばく異議の一人として断じて許容できません。

本人提供

## 喜田 聰議あり 拠点拡大軍事

「台湾有事は日本有事」などと叫ぶ無責任な政治家がいます。「有事」にしないために徹底した外交が必要なのです。有事をつぶさに口に出してくるのは、政治の責任であることを重視すべきです。（監修手 喜田 聰議）

